

# 令和元年度 学校評価書

令和2年3月25日

## 教育目標

- ・先づ健康と明るい心
- ・道に従い優しく強く
- ・仕事は忠実、務は責任
- ・報恩奉仕の毎日へ

(達成度70%・A 達成度70%~40%・B 達成度40%・C)

## I. 経営の重点に関するこ

	目 標	具体的取り組み	最終評価(A~C)
重点目標  (産業人としての知識・技能修得、豊かな人生観を熟慮させる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT科高校生全員にパソコン普通科全員にタブレットを所持させ効果的学習を研究</li> <li>○中学部では英数国、特に英語の学力向上</li> <li>○全国高校総体に多くの部が参加し上位入賞を目指す</li> <li>○定員を満たすための内容充実(教員の指導力向上、設備の充実)に努める</li> </ul>	<p>○ICT科にパソコン貸出使用規定をしっかりと生徒に浸透させ、貸与は1学期中に行い、検定等の実績が上がるようになる必要がある。普通科のタブレットに関しては課題研究時の使用以外にも普段の授業から使用できるように準備する。</p> <p>○中学では英語力向上とともにタブレット、プロジェクトが上手に使用できるように取り組んでいく。</p> <p>○運動部だけではなく文化部も、生徒会を中心に行なうなどで応援し盛り上げていく。</p> <p>○多くの行事を削減縮小しなければならないが、教員研修等は積極的に参加してもらう。</p>	B 今回のコロナウィルスの学校閉鎖時の授業が自宅でも出来るようにしておかなければならなかった。少なくともICT科での生徒との双方向授業ができるようにしていきたいと考えています。学校では中高ともに先端の授業を行ってはいるが、各家庭のシステムを構築していくなければならない。簿記部、陸上部と全国優勝と活躍してくれた。募集がそれほど振るわなかつたのは、他校との比較や広報活動ではなく、内部の多くの生徒の活動や行動にあると思う。

学校法人長嶋学園

城南静岡高等学校・中学校

校 長 村上 紀彦

評価	学校関係者評価委員から
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パソコンの貸し出しにより自宅でも授業ができる形が構築できれば良いと思います。</li> <li>○掲げた目標が未達であり改善すべきです。</li> </ul>

## II. 各部・領域等に関するこ

	目 標	具体的取り組み	最終評価(A~C)
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資格取得・検定勉強対策</li> <li>○基礎学力の向上</li> <li>○道徳教育の充実</li> <li>○地域貢献教育への取組</li> </ul>	商業科の検定対策として特別講座と強化週間を年間2回ずつ設け、取得率の向上に取り組んだ。特に本年度の特別講習は、日商簿記検定受験者と全経簿記検定受験者の実施時期をずらし、より検定対策に特化した取り組みをした。他にも、大学進学に求められる英語の資格対策として、英語検定強化週間を実施した。また、地域貢献教育の一環として「城南マルシェ」を開催し、「しんきんフェア2019」に高校3年生ICT科全員が参加し、地元企業をサポートした。	A ICT科は日商簿記検定1級合格2名(うち1名は2年生)、全経簿記検定上級合格1名、税理士試験簿記論合格4名・財務諸表論合格1名(本校初の合格)、全商3種目(9種目)1級合格1名、実用英語準1級2名など、全国でもトップクラスの実績を残した。また、本年度の卒業生では、全商3種目以上1級合格43名を輩出し、数多くの資格を取得し卒業させることができた。「城南マルシェ」では生徒が企画した体験ブースや様々な企業の出店など、多くの近隣住民に参加してもらい、好評を得た。「しんきんフェア2019」では、受付をはじめ物販のサポートや会場周辺の警備など様々な仕事を経験することができ、地元企業とのつながりを深めることができた。

評価	学校関係者評価委員から
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日商簿記検定1級を2年生で取得することは大変なことだと思います。</li> <li>○本校の要である資格取得教育と地域貢献教育は、今年度も実績として現れており評価したい。</li> <li>○学校の名誉を高めることは大変良かったと思います。このことは、生徒のプライドを高めることにも繋がると思います。</li> </ul>

	目 標	具体的取り組み	最終評価(A~C)	評価	学校関係者評価委員から
生徒指導部	○基本的生活習慣を身につける ○城南静岡を好かれる学校にする	定期的に服装・頭髪などの身だしなみ指導を実践した。登校時における交通指導やマナー指導の実施、定期的な郊外巡回の実施、授業やHRにおけるマナー指導。	C 今年度の後半に入り生徒指導事例が発生した。また、近隣住民から交通マナーや態度についてご指導をいただいた。今後、愛される城南生を目指し、近隣住民からの信頼回復をしていきたい。	B	○自転車のマナーを向上するようにお願いします。 ○生徒指導部の評価が低く感じる。生徒を信じ教育者として立ち向かっていただきたい。
進路指導部	○進路100%決定 ○進路意識の高揚 ○面談の充実	担任へ面談の充実を促した。困った生徒は部長へ流すよう伝えた。また、子供との面談だけでなく、親との面談回数も増やした。校内のガイダンスにおいて、参加依頼した大学・専門学校・企業の数を少しずつ増やすことができた。会場の問題もあるが、できるだけ増やしていきたいと考えている。オープンキャンパスにおける行き先の数を増やし、生徒の希望に添えるようにした。	B 進路を希望する生徒は、全員決定いたしました。目標であった「面談の充実」については、各担任の細かな面談指導により、昨年に比べ結果に結びついたと思う。若干進路活動へのスタートが遅い生徒がいた。特に来年度は大学入試制度の変革が実施されるため、より早い対応に心がけたい。春のオープンキャンパスは、新型コロナウィルス蔓延のため中止せざるを得なかったことが残念である。	A	○在学中に取得する資格、指定校推薦枠の充実や就職ガイダンスの定期的なバックアップ体制は大いに評価したい。 ○ある程度の目標達成であれば、合格点をあげても良いですね。
保健部	○心身の健康保持増進	薬学講座(全校対象)を開催し、薬物が心身に与える影響についての理解を深めさせる。 毎に講座を開催し、 生→喫煙 性教育 ん それぞれの分野における正しい知識を身につけさせる。	B 学年 中学 高1→ 高2→が ん 高3歯科 今年度は新たな取組として、各学年毎に講師を招いて講座を行った。その成果として歯科治療率が向上した。感染症対策として対策として今年度もキエルキンを全教室に設置した。インフルエンザの流行が早くから始まったためPTAのご支援で1ヶ月程前倒しした。そのため、学級閉鎖は1学級のみで抑えることができた。	A	○薬学講座の実施は大切なことですので、これからも続けてください。 ○学習指導要領に基づき健全な心身をもてるようにご努力をお願いします。 ○保健教育と実践が伴っていれば良いと思います。
部活動	○生徒の興味・関心を援助し社会性・創造性を育てる ○より高いレベルの大会等で結果を残す	基本的生活習慣の育成を柱とし、厳しさの中にも慈愛に満ちた指導を心がける。運動部においては、スポーツをする楽しさや喜びを忘れず指導にあたる。文化部においては、芸術系や学問系の技術向上を自発的に活動できるような指導にあたる。	A 本年度も全国大会に出場した部活動があり(陸上・水泳・体操・テニス・書道・簿記・珠算)、活発な活動をすることができた。陸上部では全国総体女子砲丸投げで優勝、簿記部では全商簿記コンクールで個人最優秀賞と、運動部・文化部とも活躍した。また、昨年度に創部された「地域貢献部」は、静岡市内を中心的に様々な地域活動のお手伝いをさせていただいている。	A	○運動部、文化部、地域貢献部、それぞれの特徴が全面に出ていてこそ実績が伴う。仲間との絆や成果物の重みも実感できる貴重な人間育成場所。創部3年目の地域貢献部にも期待したい。 ○スポーツや勉強で好成績を残せば新聞などのマスメディアが取り上げてくれ、学校のステータスを高めてくれます。

	目 標	具体的取り組み	最終評価(A～C)	評価	学校関係者評価委員から
教職員の資質向上	○新カリキュラム研究 ○地域貢献教育 ○ICT活用の研究	新カリキュラムを理解する研修 静岡ホビーショーのサポート しんきんフェアの指導 城南マルシェの指導 高大接続インターネット教育	A 新カリキュラムのプロジェクトマッピング及びデジタルサイネージの研修を行った。静岡ホビー・ショー、しんきんフェアの事前研修により、生徒がしっかりと行動できて多方面からの褒めの言葉を頂いた。城南マルシェも多くのお店が出店、地域貢献教育が進んだ。高大接続インターネットは1回にとどまつたがまなびや参加校とのインターネット会議を4回行うことができた。	A	○目標達成と弛まない先生方の努力を評価。地域貢献教育のカリキュラムは今後の城南静岡の大きな教育特徴として内需拡大に務めるとともに、先生方も自信を持って履行していただきたい。 ○まなびやスタッフにおけるプレゼンは最高評価そのものです。継承をお願いいたします。 ○先生も大いに時代の流れを勉強し、それに対応できる力を身につけてほしい。
保護者との連携	○学校と保護者双方で生徒を育てるという意識で連絡を密にする	PTA総会・懇親会・学級懇談会・常議員会の開催にPTA役員と連携して多数の参加を保護者に呼びかけた。また、城南祭・文化祭・体育祭の行事についても来校いただけるよう計画を立てていきたい。	B 学園祭や体育祭にはおおくの保護者が参加してくれて、盛況に事が進行した。しかし3学期に入り新型コロナウイルスの流行により、学校の大きな行事である卒業式等を縮小した形で行い保護者のみなさまに多大な迷惑をお掛けしたことが残念である。	B	○家庭が学校教育に関わる場として、保護者会がありますが教育を取り巻く環境も徐々に変わっていき以前は学校主体だった活動も、家庭・保護者委員に変わりつつあります。行事が少ない分継承するものは情報の共有であり、その点おざなりにならぬようお願いいたします。
地域との連携	○学校行事の地域の方の参加の呼びかけ ○地域の行事に対しての職員・生徒の参加 ○学校施設の貸し出し	学校の行事の町内会への告知を回観板やチラシを作成して行う。 地域の催し物への参加を職員・生徒に告知する。	A 学園祭や城南マルシェなどの学校行事に地域の人たちが参加してくれた。ここ数年、小中學校の夏季研修、地域の夏祭りに学校施設を貸し出した。更に消防署の水難救助の練習のためプールの貸し出し、水泳関連の団体や市のイベントにも施設を貸し出している。	A	○毎年11月23日に福祉ふれあいフェスタのために駐車場を貸していただき大変助かります。 ○地域との関わりを重視している日頃からの姿勢だと考えられる。 ○学校と地域と相互に交流するもっと作ってくれるとありがたい。まだ、学校内に入ったことのない地域住民がたくさんいます。交流できるプログラムがあるといいでね。
施設・環境	○ICT科の新入生にパソコンの貸与をする ○インフルエンザ対策	ノートパソコンの購入を4社見積り合わせて決定し、なるべく早い時期に生徒に配布できるようにする。インフルエンザに関しては、昨年同様にキエルキンの導入を検討する。	A 本年度もICT科の生徒にノートパソコンの貸し出しを行った。ただ、年々パソコンのスペックが上がってきており、併せて金額も上昇するという問題点も抱えている。 3学期に入り新型コロナウイルスの流行のため、国の指導により3月より休校措置を講じた。 長いこと処理を考慮中であったPCBについて、令和2年度の5月に処理をすることが決まった。	A	○有意義な学校生活を安全、安心に送るために備えや準備となります。計画性を持ち取り組んでいただきたい。

学校からの経営のまとめ（成果と課題）	学校関係者評価委員まとめ
<p>退学者が昨年に比べ減少しているように思える。その分、今までにないような態度で授業や式典に臨む生徒が増え、落着いて授業に臨むことのできない生徒への指導も難しくなっている。昔の運動部タイプへの指導とは違い、養護教員やカウンセラーの知識が必要になっており、担任への研修も必要になってきた。また、運動部では陸上が全国優勝、新体操、体操、水泳、テニスが全国へ、バスケット、柔道が東海大会へ進んでいる。文化部では簿記部が全国優勝、書道部も全国へ進んでいる。検定も上位者は日商1級他税理士簿記論、財務諸表論等多くの成果を上げたが、日商2級取得者や全商3種以上取得者が減っている。上位者とそれに続く生徒間の格差が大きくなっている。募集に関しては昨年度より今年度、さらに来年度は静岡市内の生徒人口が減少する。他校との差別化を図り生徒募集をしていかなければならない。</p>	<p>進学にも就職にも順応できる独自の教育を行うことを目指すのであれば、先手必勝のいわれがあるよう、衆知を集め相互信頼の基に一丸となって「考動」していただきたい。      英会話、パソコン、弁論など現代に必要な科目に力を入れて見るのも良いでしょう。今後更なる人口減となる見込みです。学校としてそのあたりを見据えたステータスアップに力を入れましょう。      教職員の方が一生懸命、生徒の事を考えて日々努力していただいている事が、「目標・具体的取り組み」を見て感じ取れます。全てが信頼関係で成り立っている事だと思いますので、これからも、城南静岡高等学校・中学校の発展を願っています。</p>